

表7 靴下着用時、及びあんか使用時の各測定項目の実測結果

			靴下着用時	あんか使用時	
病室内環境	病室内温度 [°C]	平均値	22.6 (0.68)	22.7 (1.04)	
		最高値	24.6	24.9	
		最低値	20.7	20.3	
	病室内相対湿度 [%]	平均値	47 (10.6)	33 (4.0)	
		最高値	68	44	
		最低値	27	21	
衣服内環境	衣服内温度 [°C]	平均値	34.9 (0.84)	33.2 (0.91)	
		最高値	36.6	35.8	
		最低値	31.6	30.3	
	衣服内絶対湿度 [g/m ³]	平均値	13.9 (2.71)	11.3 (2.11)	
		最高値	28.6	22.2	
		最低値	8.7	7.4	
	衣服内相対湿度 [%]	平均値	35.2 (6.76)	31.4 (5.28)	
		最高値	69.2	59.6	
		最低値	22.6	22.1	
各部位 皮膚温	腋窩皮膚温 [°C]	平均値	36.8 (0.39)	36.3 (0.55)	
		最高値	37.7	37.3	
		最低値	35.6	35.0	
	上腹皮膚温 [°C]	平均値	36.4 (0.42)	35.8 (0.63)	
		最高値	37.5	37.2	
		最低値	35.1	33.2	
	手背皮膚温 [°C]	平均値	35.0 (1.00)	34.2 (1.95)	
		最高値	36.7	36.1	
		最低値	30.8	30.6	
	上腕皮膚温 [°C]	平均値	34.1 (1.05)	33.6 (1.11)	
		最高値	36.2	35.7	
		最低値	32.0	31.0	
	大腿皮膚温 [°C]	平均値	35.4 (0.66)	34.9 (0.85)	
		最高値	36.9	36.8	
		最低値	33.2	32.0	
	足背皮膚温 [°C]	平均値	34.3 (1.78)	34.4 (1.27)	
		最高値	36.4	36.6	
		最低値	28.0	29.5	
	心拍変動	心拍数 [BPM]	平均値	129 (11.6)	122 (12.2)
			最高値	170	148
			最低値	106	96

() : Standard Deviation

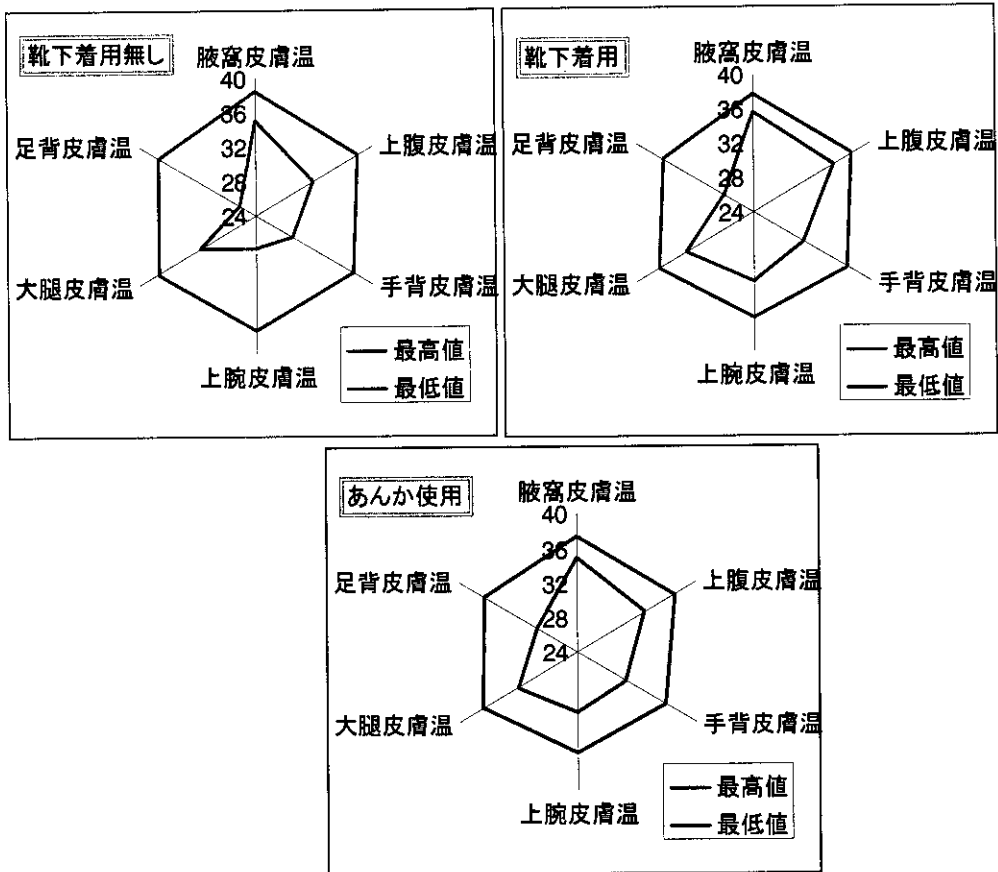


図 12 足部加温の有無による各部位皮膚温の最高値と最低値の変化

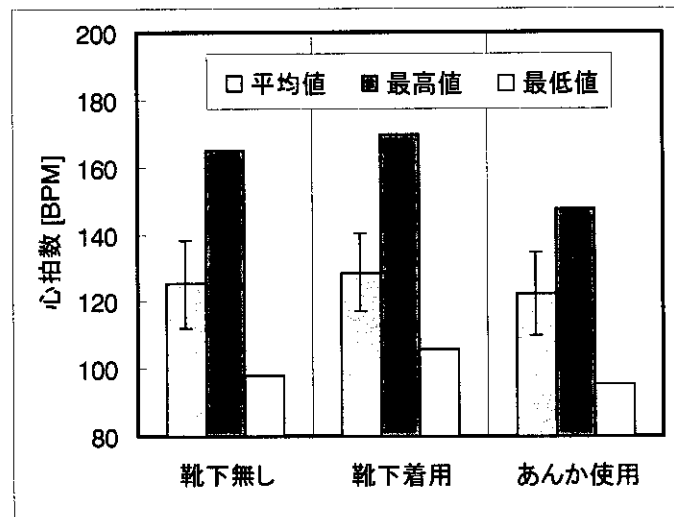


図 13 足部加温の有無による平均心拍数、最高心拍数、最低心拍数の変化

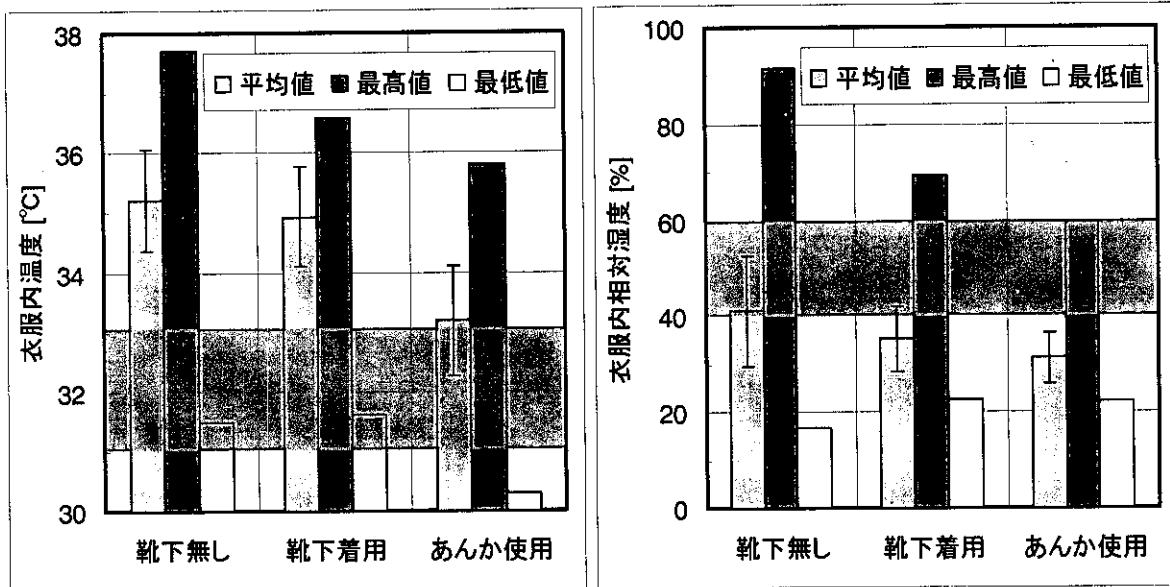


図 14 足部加温の有無による衣服内温度・相対湿度の変化

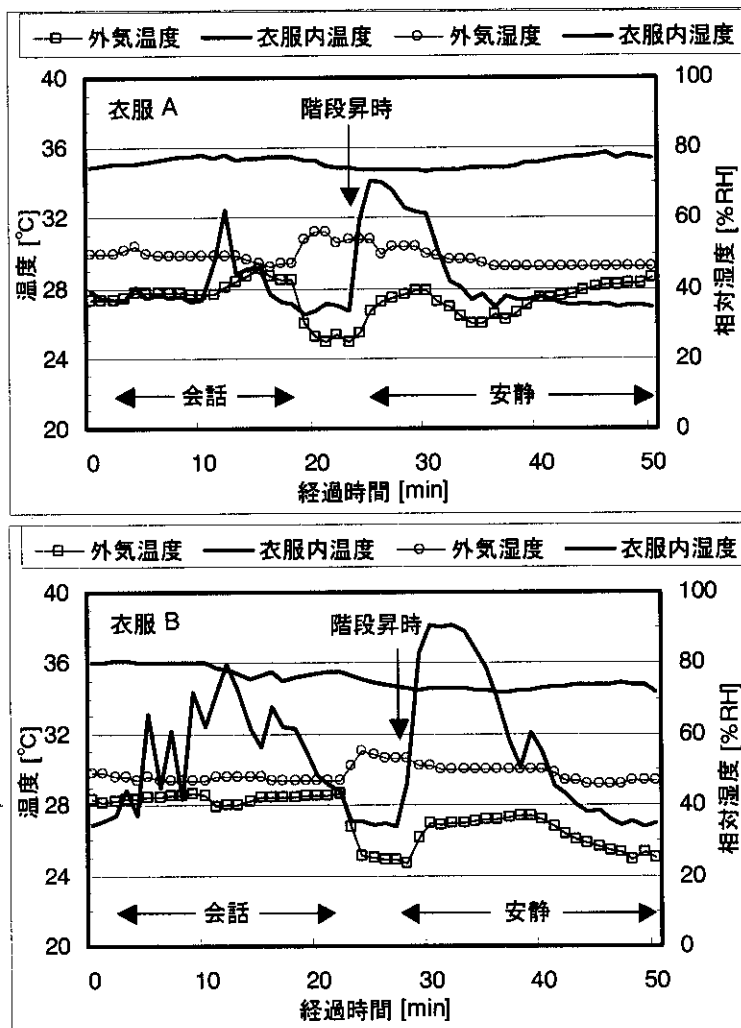
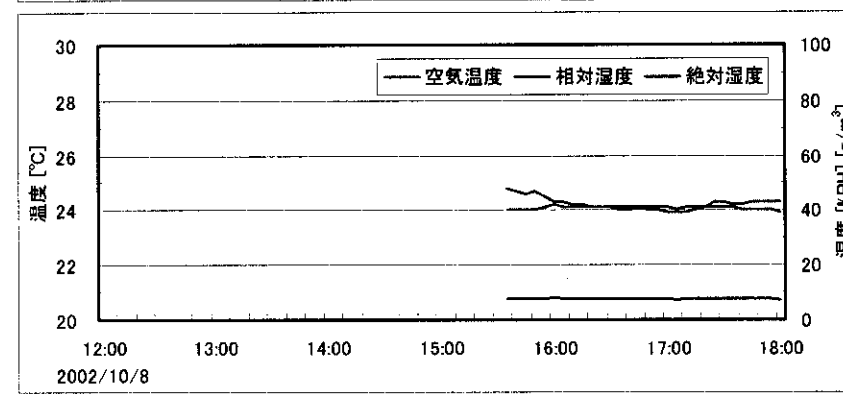
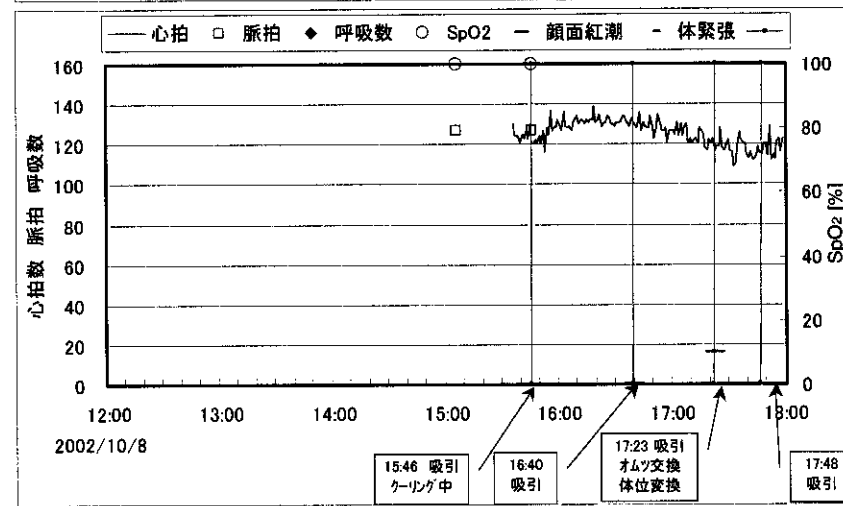
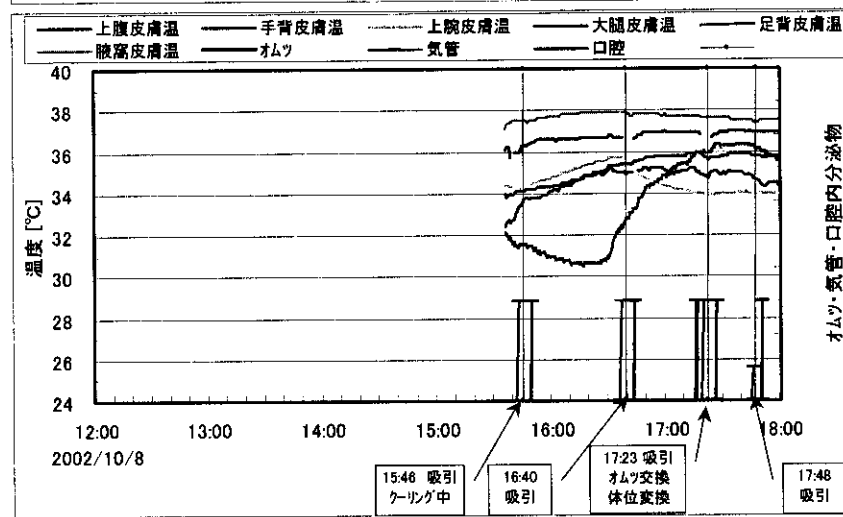
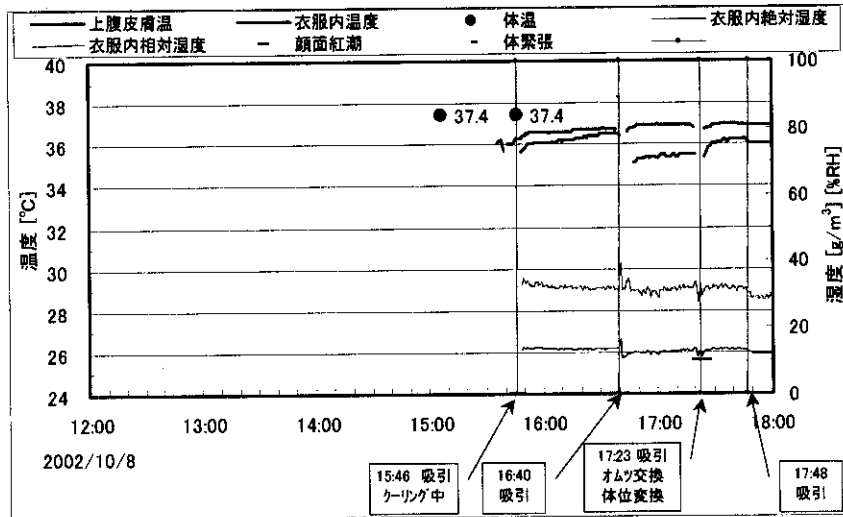
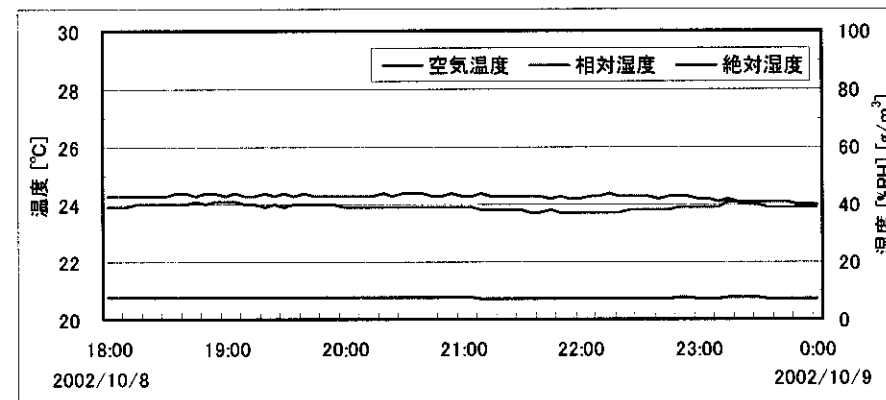
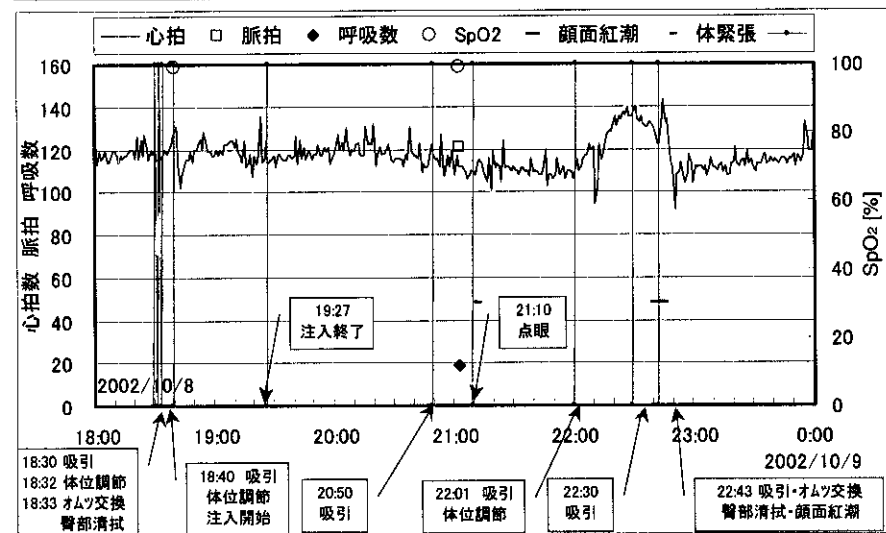
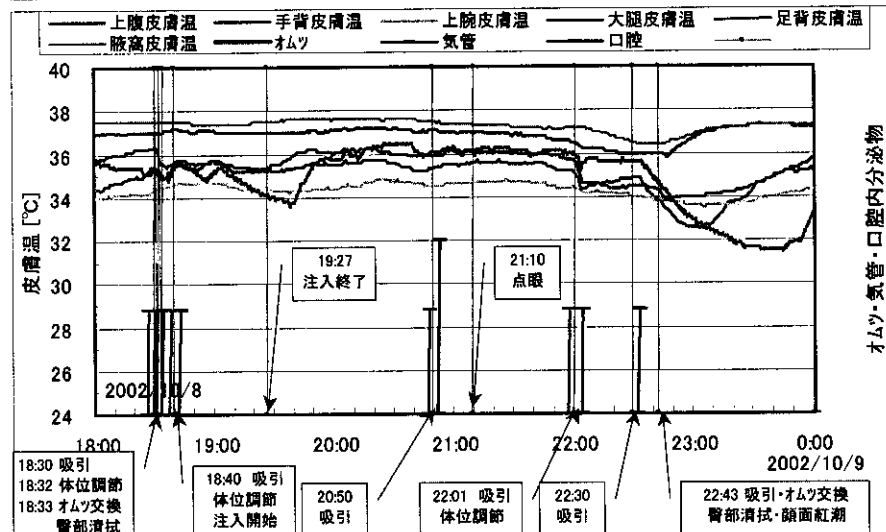
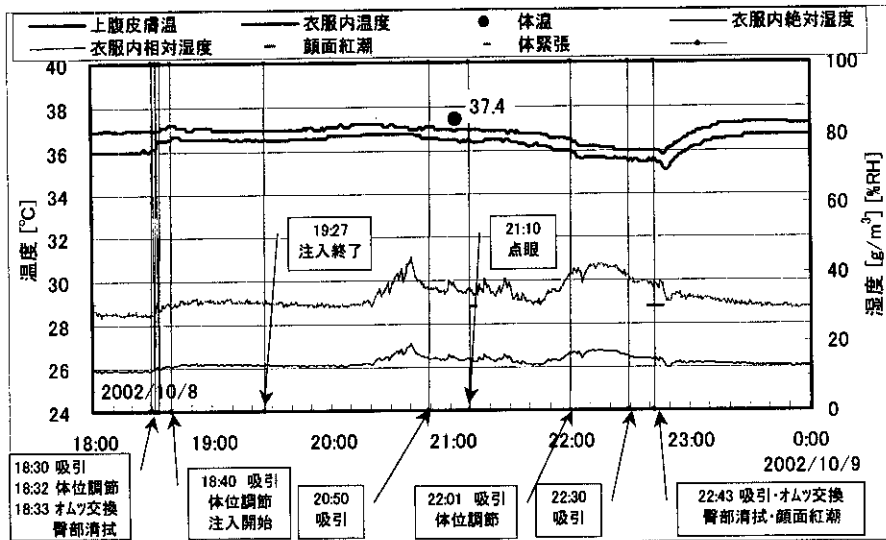


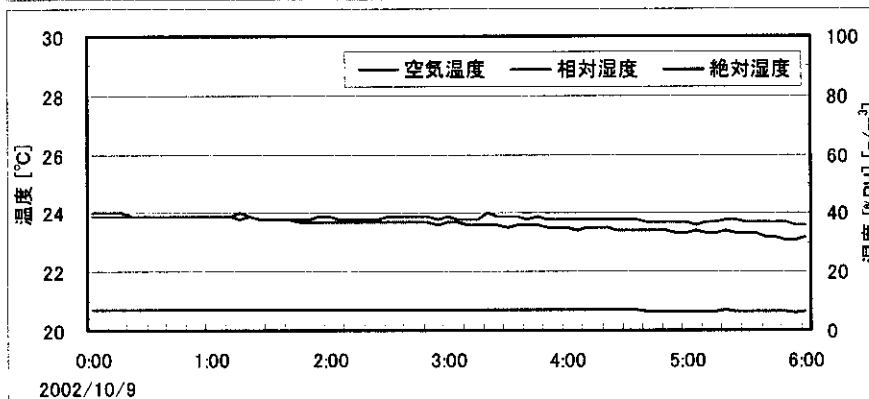
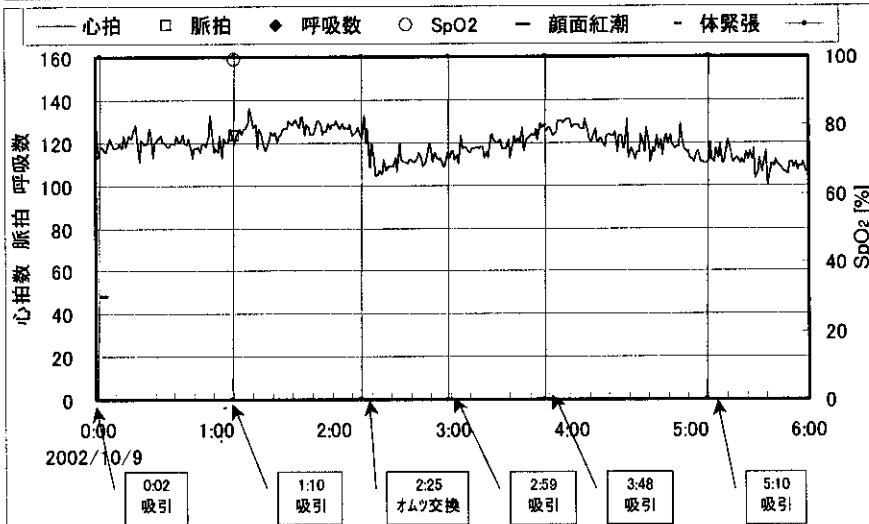
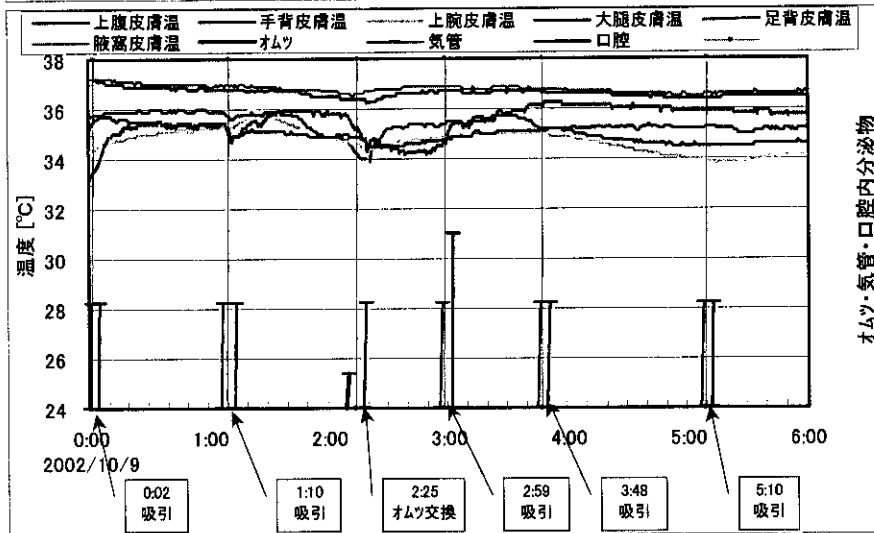
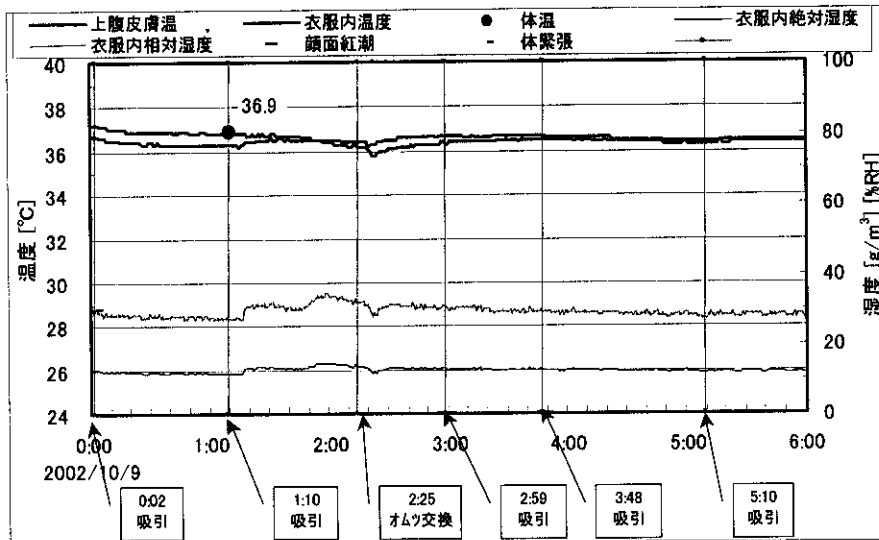
図 15 健常者の衣服内温湿度計測例

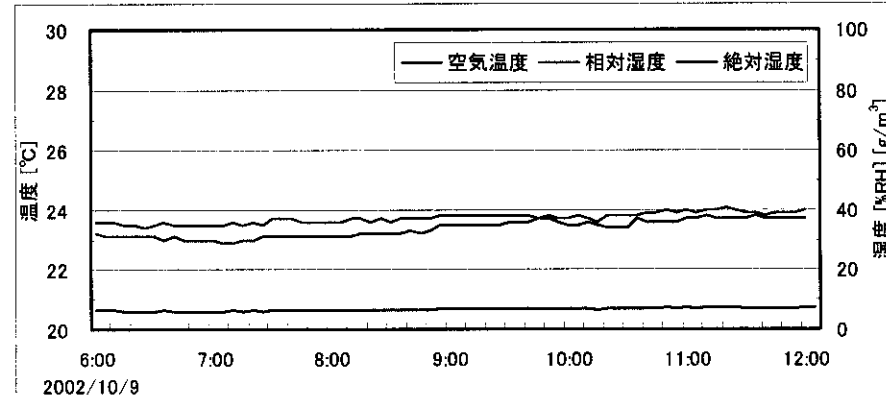
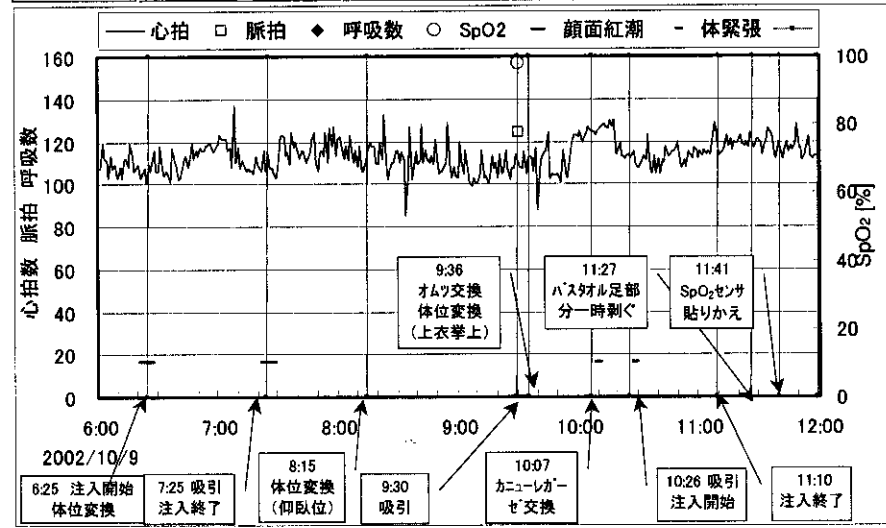
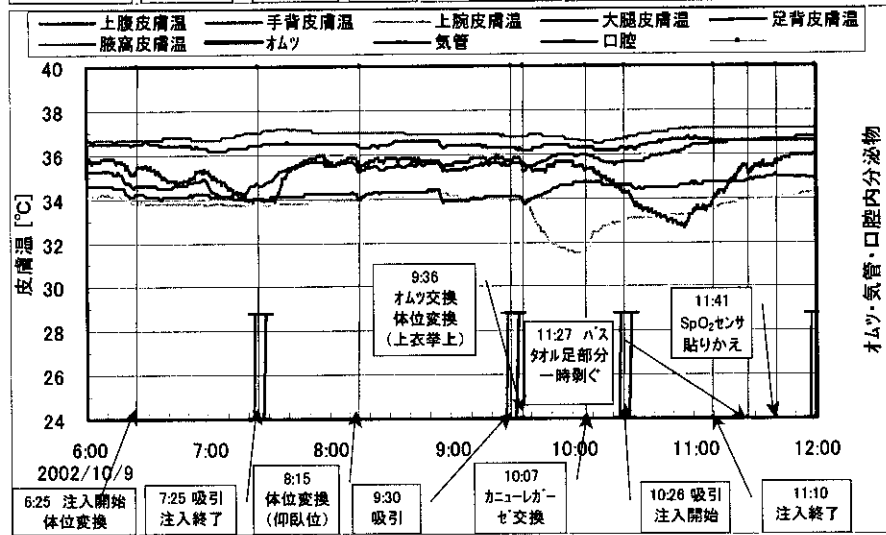
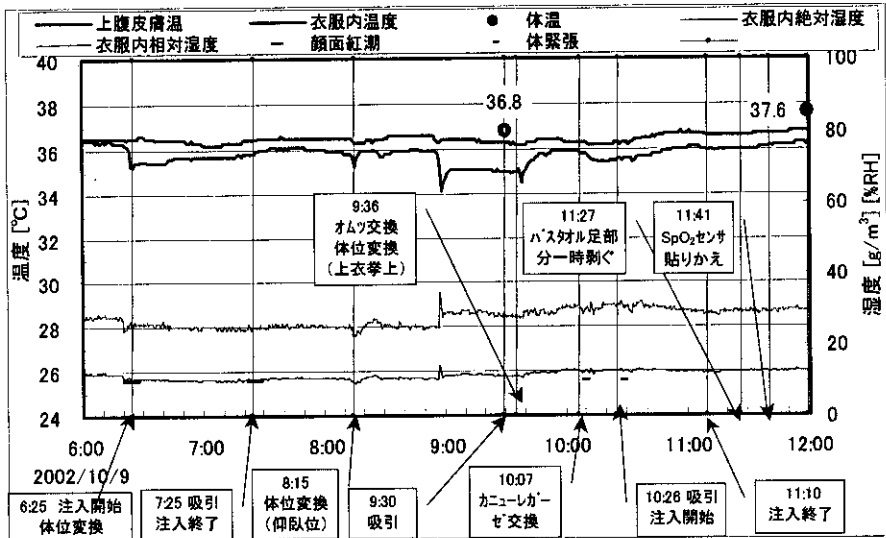
(精神性刺激・運動による温熱性刺激の衣服内環境に与える影響)

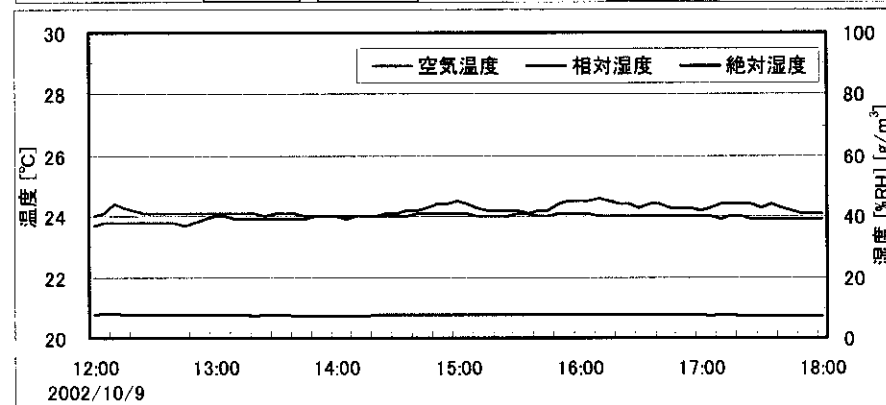
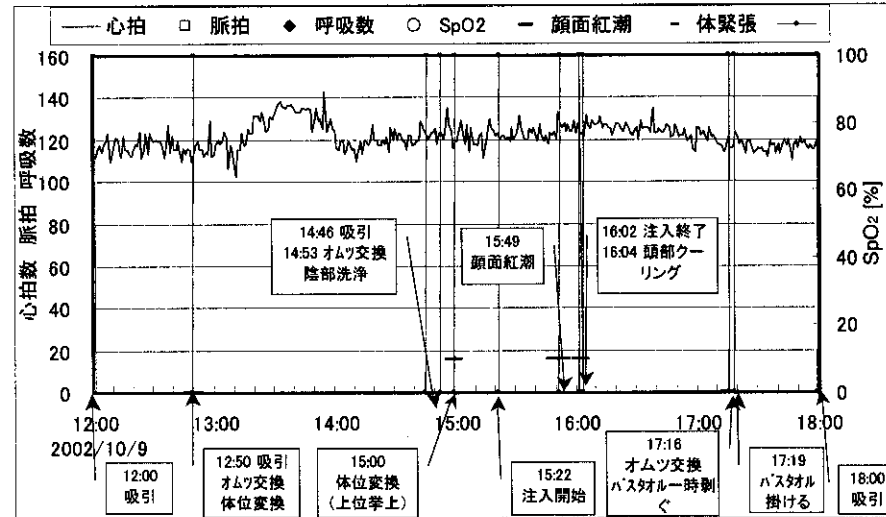
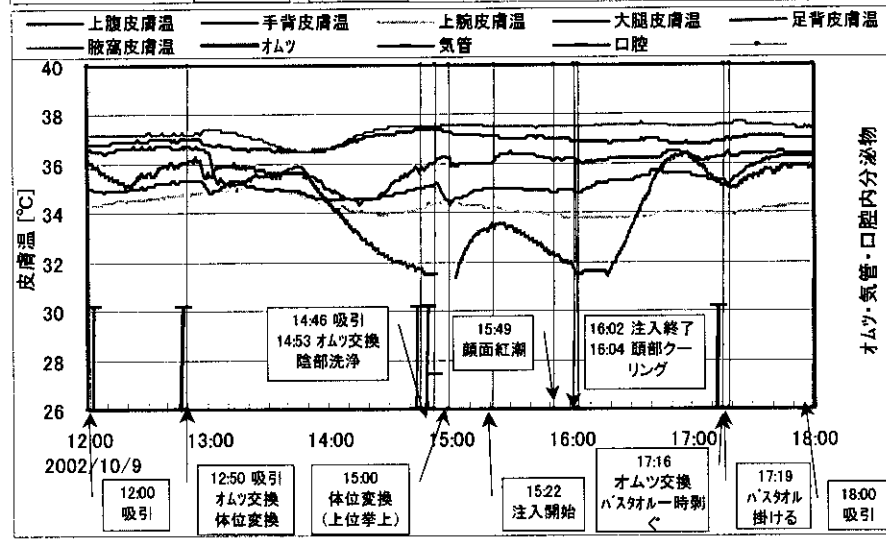
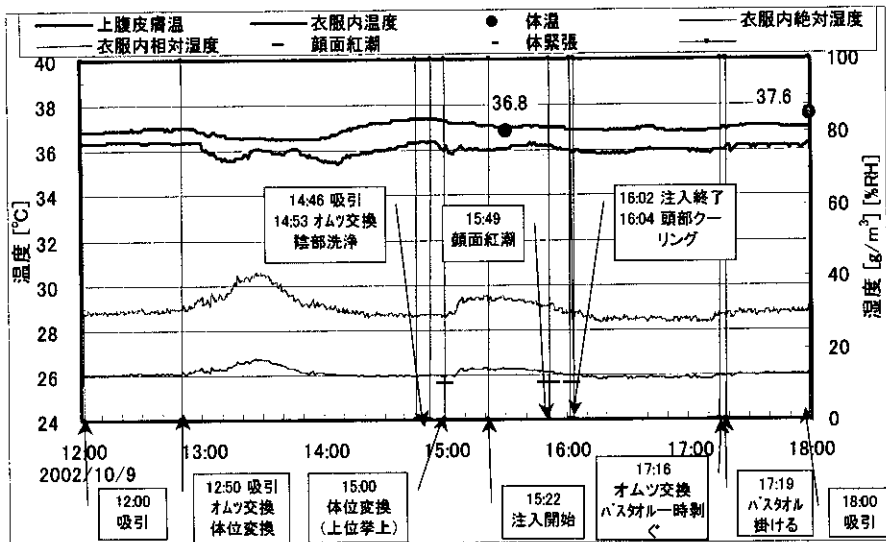
【参考資料】 看護師によるケア情報と各環境要素測定結果例（8回目測定時）

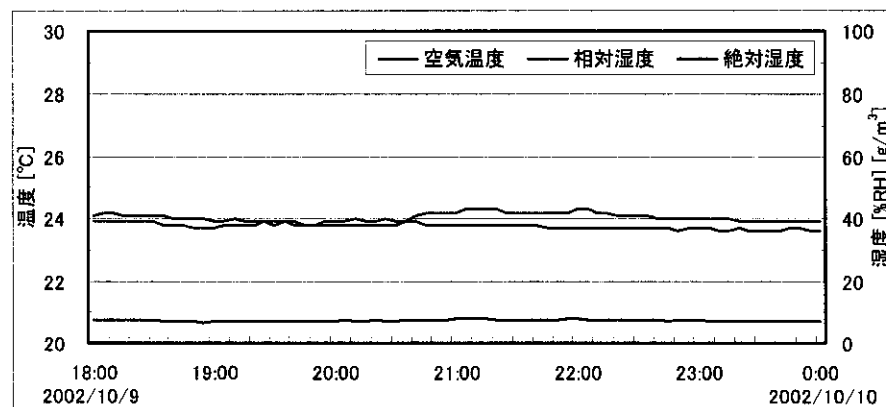
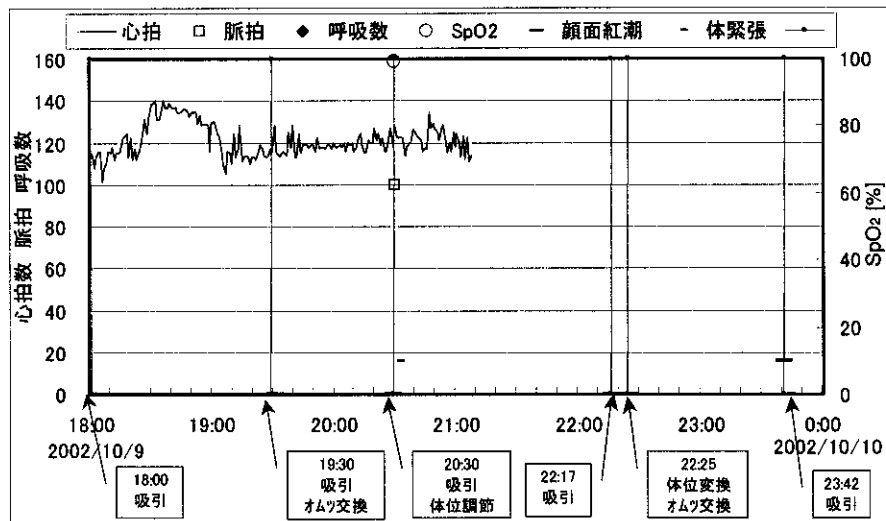
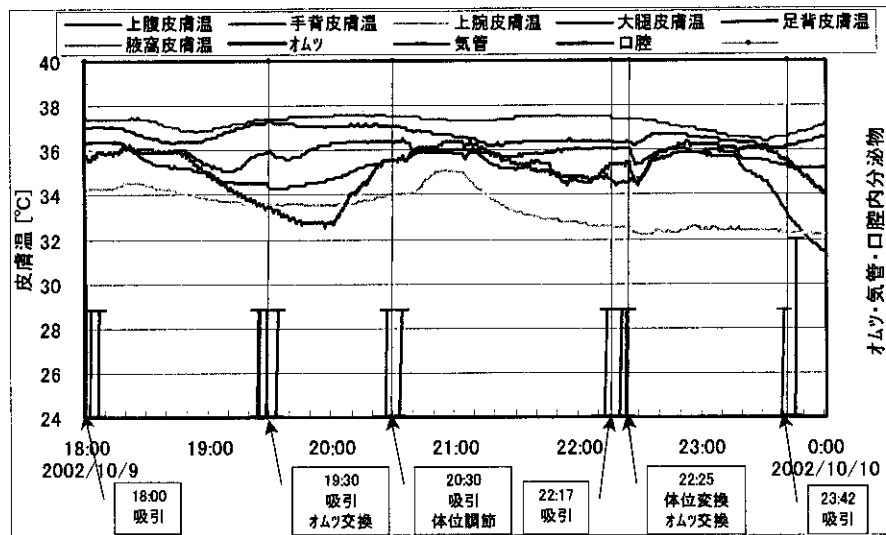
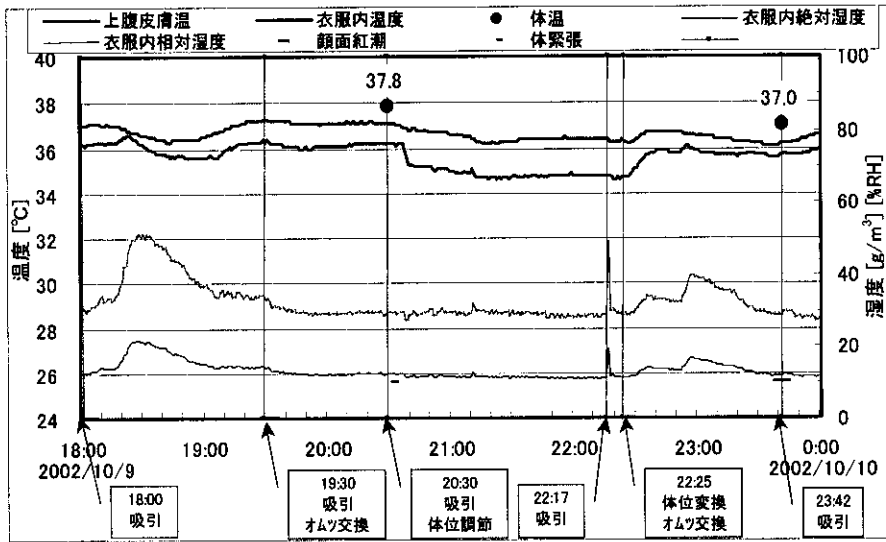


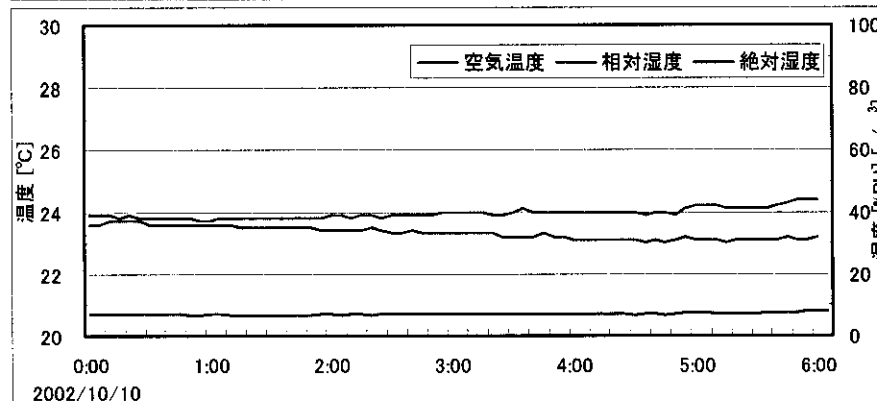
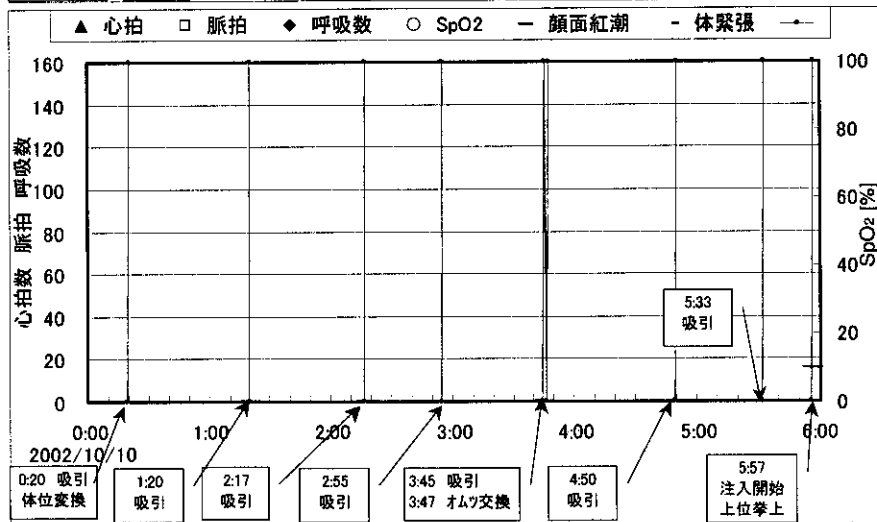
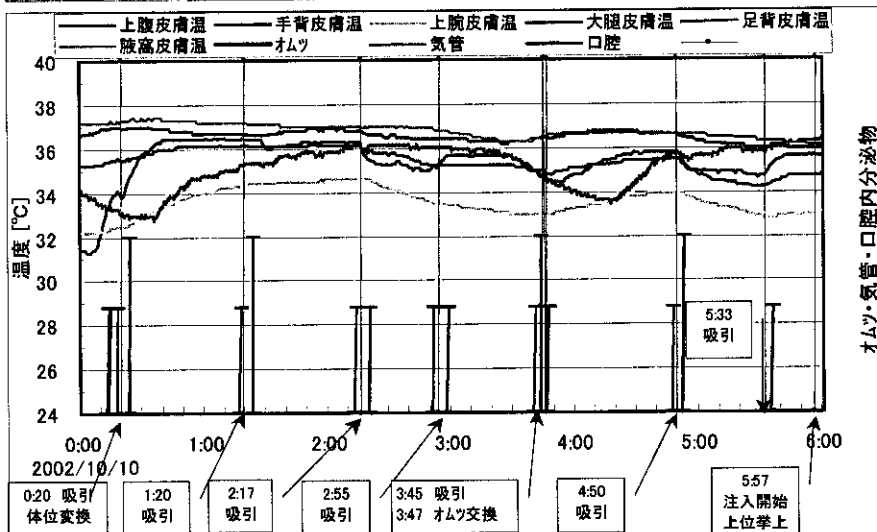
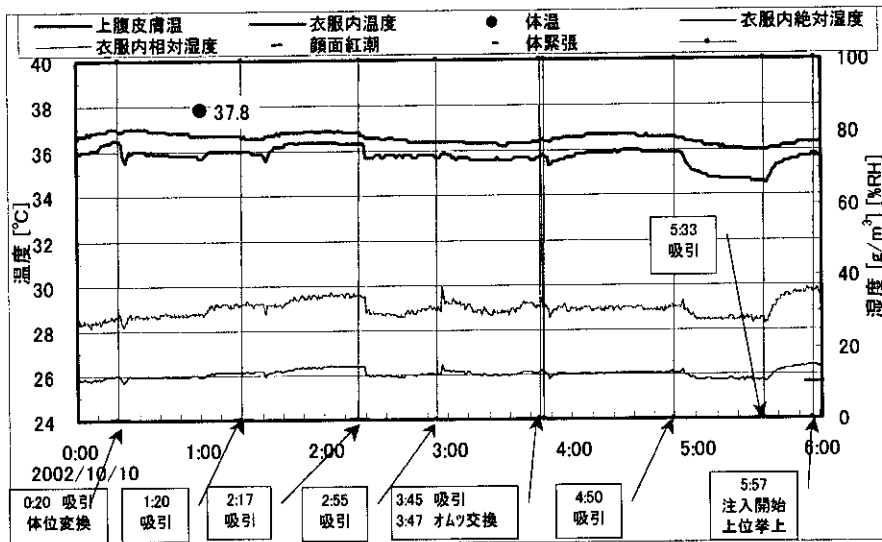


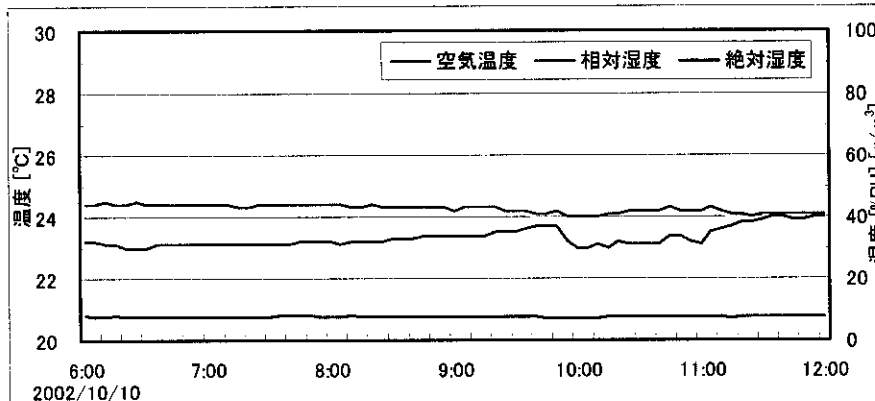
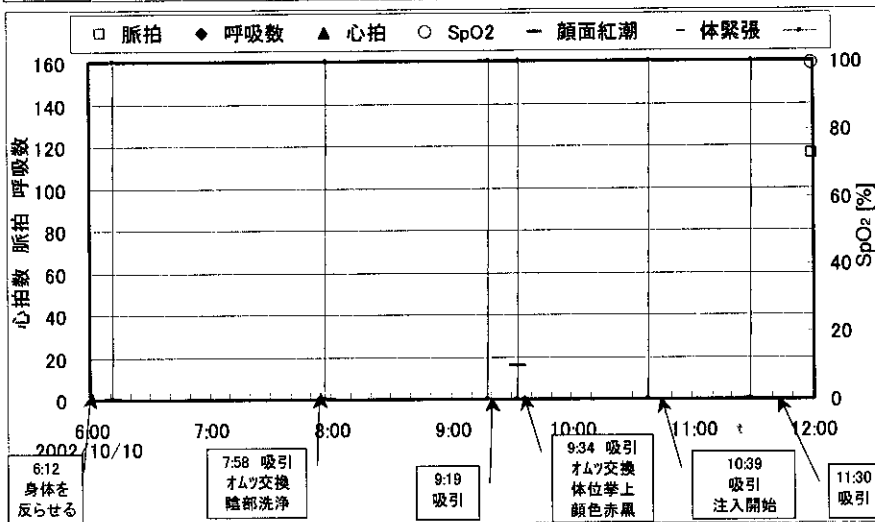
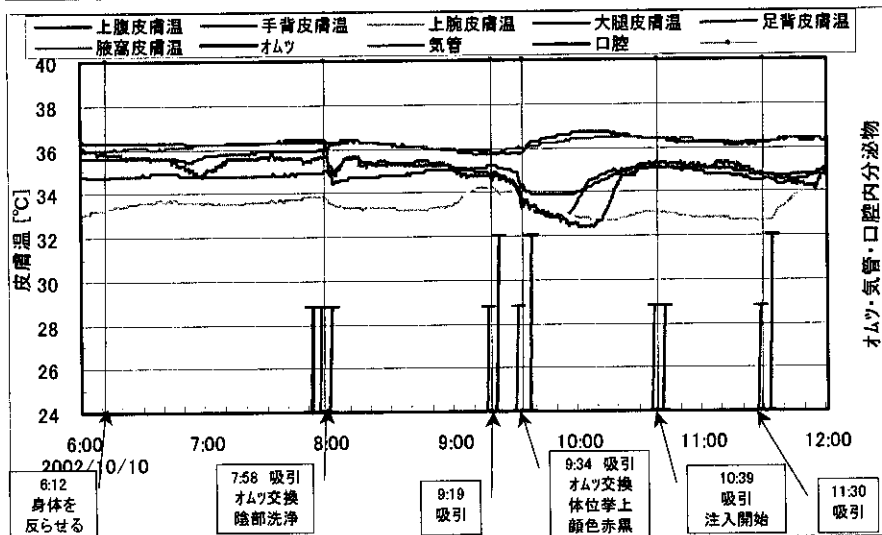
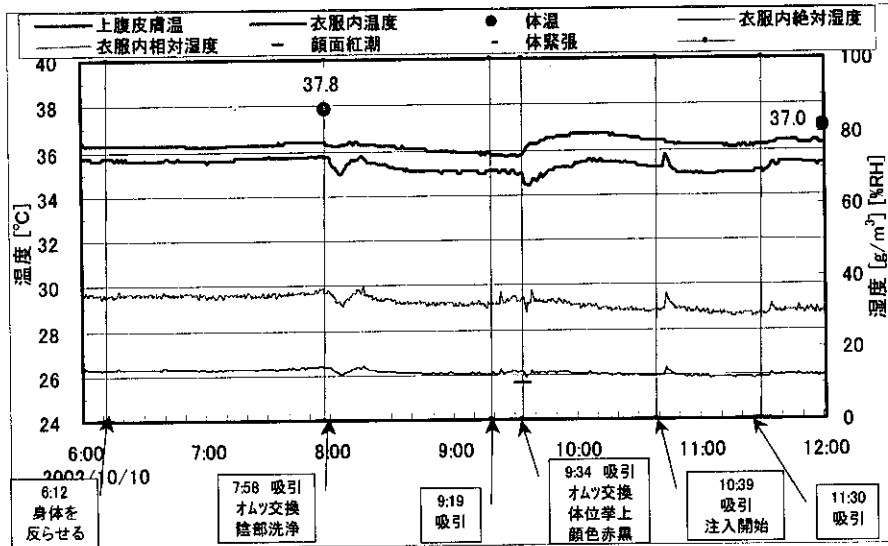


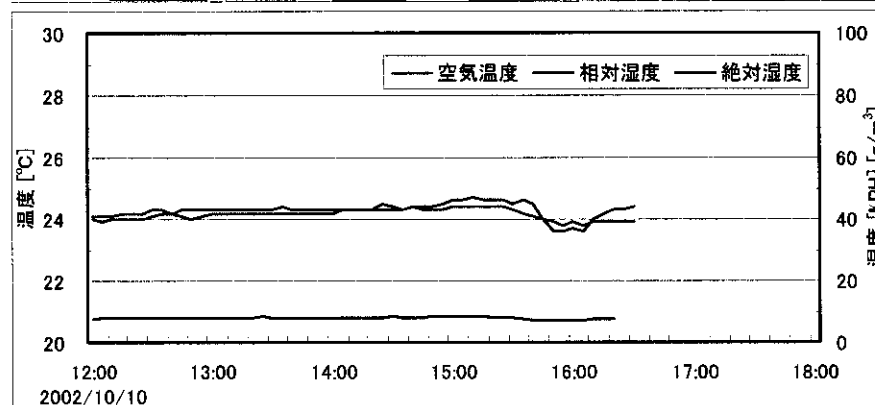
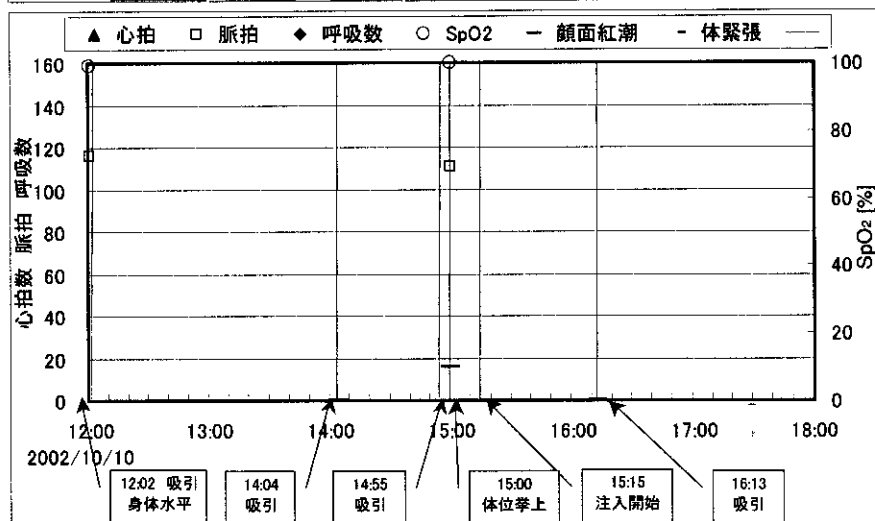
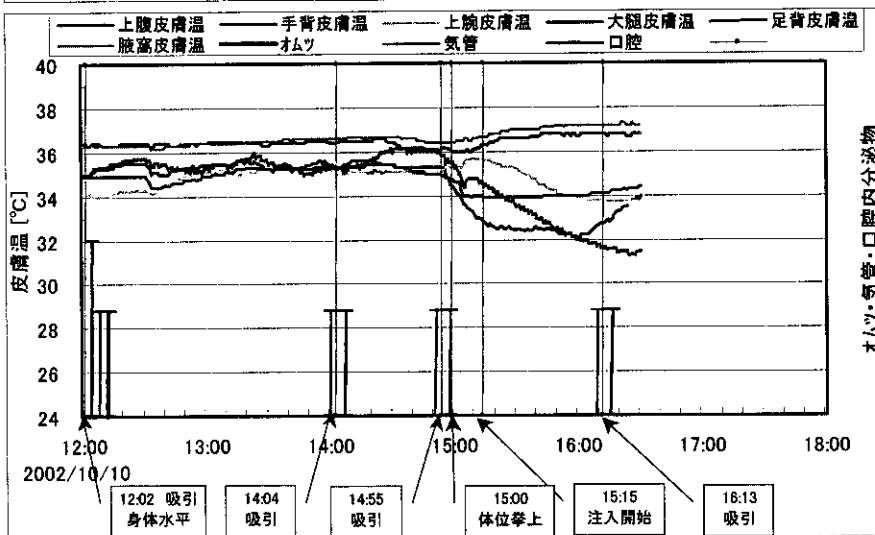
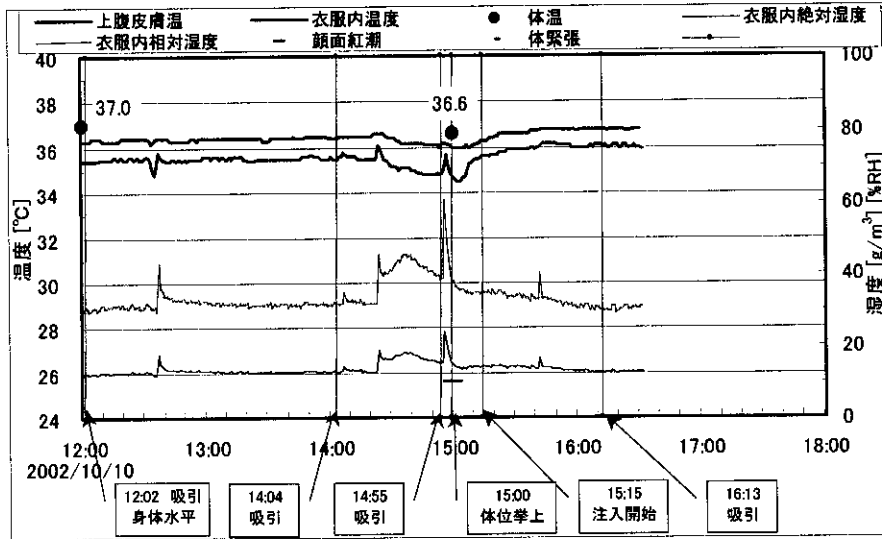












厚生科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）

分担研究報告書

重症心身障害児の衣類に関する研究（その3）

分担研究者 中村博志 日本女子大学教授

研究要旨：重症心身障害児の療育の歴史は、昭和42年に児童福祉法が改正されて以来、多くの障害関係の施策の発展を上回る勢いで進んできた。最近では日本経済の衰退もあり全般的な構造改革が叫ばれ、保護費の導入など障害関係の政策の見直しも迫られている。被服の問題は、直接障害児自身の生存にはかかわり合わないとはいえ、本人の精神的内面も考えるとかなり貴重な課題である。我々はこれまで2年間にわたり、主として重症心身障害児の保護者を対象に被服に関する意識調査を行ってきた。今年度は、重症心身障害児にかかわる施設職員を対象として過去と同様な調査を行なった。重症心身障害児に関与する両者の意識はあまり大きな違いは見られないことが分かった。しかし、詳細を見ると、若干の相違が見られ、例えば、着替えに関しては、汚れるたびに置き替えるという項目は職員のほうに多く、家庭においては汚れるたびに着替えがなかなか容易ではないことがわかった。

I. はじめに

重症心身障害児の療育の歴史は、昭和42年に児童福祉法が改正されて以来、高度成長期の影響もあって、これまで、多くの障害関係の施策の発展を上回る勢いで進んできた。最近では日本経済の衰退もあって全般的な構造改革が叫ばれていて、保護費の導入など、障害関係の政策の見直しも迫られている。被服の問題は、直接、障害児自身の生存にはかかわり合わないとはいえ、本人の精神的内面も考えるとかなり貴重な課題である。生活が豊かになり、生活の質を尊重する時代となると、これまでは見逃されてきた重い障害児に対しての被服問題も、単に、着ていけば良いと言う時代から、個性を尊重し、美しさを求めるという時代が変わりつつあるということが出来よう。

我々はこれまで2年間にわたって、主として重症心身障害児の親御さんを対象に被服に関して意識調査を進めてきた。勿論、対象の重症心身障害児は、その障害の性格から言って、本人自身に被服に関

しての意識を問うことはきわめて難しいからであるが、別の言い方をすれば、最も障害児自身に近い立場にある親御さんや、施設職員が最も障害児自身の気持ちを汲み取ることが可能であるからである。過去、第一日目と二日目は、親の被服に対しての意識調査を行ない、入所の親御さんと在宅の親御さんとの比較も行ってきた。

II. 研究の対象と方法

今年度はこれに比較する意味で、主として、重症心身障害児にかかわる施設職員を対象として過去と同様な調査を行なった。質問紙は(資料参照)以前親に行なったものと同様であるが、障害児自身に関するところは、省略してある。

対象は、A重症心身障害施設職員と、在宅療育を行なう主として重症心身障害児と肢体不自由児の療育を行なうB通園施設職員であり、対象者数は34名である。これらの施設職員の回答の単純集計を行い、これまで行なった親御さんの成績と比較した

Ⅲ. 調査成績と親の成績との対比

まず、アンケートの集計結果を、これまで実施してきた親御さんの成績と対比して示すことにする。

入所者の衣生活に関してお聞きします。(主として機能面、主として快適さ)

1) 主として、機能面を重視していますか、あるいは、快適さを重視していますか。

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
機能面	233	46.0	13	38.2
快適性	273	54.0	17	50.0
その他	0	0.0	1	2.9
合計	506	100.0	34	100.0

2) 入所者の着替えは、どのような時にしますか。

(汚れるたびに、朝起きたときに、外出する時、その他)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
汚れるたびに	23	7.5	32	43.8
朝起きたときに	151	49.2	21	28.8
外出する時	110	35.8	14	19.2
その他	23	7.5	6	8.2
合計	307	100.0	73	100.0

3) 1週間で平均何回くらい着替えをしますか

夏()回、冬()回

3-1) 夏

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
1	243	58.0		
2	135	32.2		
2~3		0.0	3	13.0
3	30	7.2	1	4.3
4(家庭は4回以上)	11	2.6	1	4.3
7		0.0	5	21.7
8		0.0	1	4.3
14		0.0	2	8.7
17		0.0	7	30.4
18~21		0.0	1	4.3
20		0.0	1	4.3
保護者が管理		0.0	1	4.3
合計	419	100.0	23	100.0

3-2) 冬

回数	家庭		回数	職員	
	度数	%		度数	%
1	242	54.3	1~2	1	4.8
2	120	26.9	2	1	4.8
4	3	0.7	2~3	1	4.8
3~4	2	0.4	3	1	4.8
1又は2	28	6.3	4	1	4.8
3	20	4.5	5	2	9.5
2又は3	14	3.1	6	1	4.8
1又は2	3	0.7	7	2	9.5
3又は4	4	0.9	10	1	4.8
3日に1	1	0.2	14	1	4.8
5	1	0.2	14~15	1	4.8
1~3	1	0.2	17	7	33.3
4又は5	1	0.2	18~21	1	4.8
0又は1	6	1.3			
合計	446	100.0	68	21	100.0

4) 衣類の素材に関して貴方が最も重視する点をお聞きします。
 重視するものから、3点を選んで、それに丸をつけてください。
 (吸湿・吸水性、保温性、通気性、強度、伸縮性、その他)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
吸湿・吸水性	261	44.4	18	18.2
保温性	211	35.9	20	20.2
通気性	73	12.4	27	27.3
強度	9	1.5	6	6.1
伸縮性	32	5.4	22	22.2
その他	2	0.3	6	6.1
合計	588	100.0	99	100.0

5) 素材として最も使用しやすいものは
 (綿、毛、ポリエステルやナイロンなどの合成繊維、その他)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
綿	459	92.9	32	76.2
毛	5	1.0	0	0.0
合成繊維	25	5.1	10	23.8
その他	5	1.0		0.0
合計	494	100.0	42	100.0

6) 衣類を選ばれる時に最も重視する点についてお聞きします。
 (サイズ、形、色、肌触り、素材、デザイン、丈夫さ、 本人の好み、その他)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
サイズ	319	66.7	24	24.2
形	22	4.6	7	7.1
色	18	3.8	8	8.1
肌触り	48	10.0	13	13.1
素材	45	9.4	20	20.2
デザイン	8	1.7	8	8.1
丈夫さ	8	1.7	8	8.1
本人の好み	5	1.0	10	10.1
その他	5	1.0	1	1.0
合計	478	100.0	99	100.0

7) 衣服の着脱に際してのことをお聞きします。どれを選ばれますか
 (ボタン、ファスナー、マジックテープ、ひも、その他)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
ボタン	66	43.4	11	31.4
ファスナー	43	28.3	11	31.4
マジックテープ	15	9.9	8	22.9
ひも	5	3.3	1	2.9
その他	23	15.1	4	11.4
合計	152	100.0	35	100.0

8) 衣服を選ばれる時に、大きさとして次のどれを重視しますか
 (かなり大きめなもの。少し大きめなもの、ちょうど良い大きさのもの)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
かなり大きめなもの	27	5.3	4	12.1
少し大きめなもの	300	58.8	27	81.8
ちょうど良い大きめなもの	183	35.9	2	6.1
合計	510	100.0	33	100.0

9) 衣服のサイズはなにを基準に選びますか

(年齢、身長、体重、胸囲(バスト)、腹囲(ウエスト)、頭の大きさ、手足の長さや太さ、その他)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
年齢	96	28.2	18	27.7
身長	47	13.8	15	23.1
体重	43	12.6	7	10.8
胸囲(バスト)	69	20.3	8	12.3
腹囲(ウエスト)	31	9.1	4	6.2
頭の大きさ	29	8.5	5	7.7
手足の長さや太さ	7	2.1	3	4.6
その他	18	5.3	5	7.7
合計	340	100.0	65	100.0

10) 既成服のサイズが合わないときの対策はどのようにしていますか
()

11) サイズ直しをする場合、主としてどの部分を修理しますか
(主として長さを、主として太さを、その他)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
長さ	249	44.8	21	77.8
太さ	209	37.6	3	11.1
その他	98	17.6	1	3.7
		0.0	1	3.7
		0.0	1	3.7
合計	556	100.0	27	100.0

1 2) 衣類の色はどのような色合いが多いですか。多い色合いから3つを選んで番号をつけてください。

(赤系、青系、黄系、茶系、黒系、白系、その他)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
赤系	270	19.3	20	28.6
青系	285	20.4	18	25.7
黄系	216	15.5	8	11.4
茶系	137	9.8	3	4.3
黒系	172	12.3	7	10.0
白系	240	17.2	9	12.9
その他	77	5.5	5	7.1
合計	1397	100.0	70	100.0

1 3) 衣服の色を選ぶ時、何を参考にしますか

(着用者の好み、親の好み、汚れが目立たない色、その他)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
着用者の好み	128	21.8	19	48.7
親の好み	321	54.8	12	30.8
汚れが目立たない色	98	16.7	3	7.7
その他	39	6.7	5	12.8
合計	586	100.0	39	100.0

1 4) 貴方のお子さんは健常なお子さんと比較して厚着だと思いませんか、あるいは薄着だと思いませんか

(厚着、薄着)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
厚着	237	50.7	11	45.8
薄着	204	43.7	9	37.5
その他	26	5.6	2	8.3
			1	4.2
			1	4.2
合計	467	100.0	24	100.0

15) 衣服の材質としては、伸びちぢみしたほうが良いか、しないほうが良いか
(伸び縮みしないほうがいい、伸び縮みした方がいい)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
伸び縮みした方がいい	234	47.1	4	12.5
伸び縮みしないほうがいい	263	52.9	28	87.5
合計	497	100.0	32	100.0

16) もし、特注で個人の欲求に合うものが出来るとしたならば、既製服に比べてどのくらいの値段ならば購入しますか

(1.2倍、1.5倍、2倍、それ以上、その他)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
1.2倍	271	56.5	11	36.7
1.5倍	139	29.0	13	43.3
2倍	21	4.4	2	6.7
それ以上	2	0.4	1	3.3
その他	47	9.8	2	6.7
		0.0	1	3.3
合計	480	100.0	30	100.0

17) 肌触りをどこまで重視しますか

(非常に重視する、多少重視する、あまり重視しない、ほとんど重視しない)

	家庭		職員	
	度数	%	度数	%
非常に重視する	142	29.6	13	38.2
多少重視する	198	41.3	20	58.8
あまり重視しない	135	28.2	1	2.9
ほとんど重視しない	2	0.4		
合計	479	100.0	34	100.0